

◀2009年 筑波大学(前期)▶

1 以下の問いに答えよ.

- (1) 等式 $\cos 3\theta = 4\cos^3\theta - 3\cos\theta$ を示せ.
- (2) $2\cos 80^\circ$ は3次方程式 $x^3 - 3x + 1 = 0$ の解であることを示せ.
- (3) $x^3 - 3x + 1 = (x - 2\cos 80^\circ)(x - 2\cos\alpha)(x - 2\cos\beta)$ となる角度 α, β を求めよ. ただし $0^\circ < \alpha < \beta < 180^\circ$ とする.

2 xyz 空間内において, yz 平面上で放物線 $z = y^2$ と直線 $z = 4$ で囲まれる平面図形を D とする. 点 $(1, 1, 0)$ を通り z 軸に平行な直線を l とし, l のまわりに D を1回転させてできる立体を E とする.

- (1) D と平面 $z = t$ との交わりを D_t とする. ただし $0 \leq t \leq 4$ とする. 点 P が D_t 上を動くとき, 点 P と点 $(1, 1, t)$ との距離の最大値, 最小値を求めよ.
- (2) 平面 $z = t$ による E の切り口の面積 $S(t)$ ($0 \leq t \leq 4$) を求めよ.
- (3) E の体積 V を求めよ.

3 $f(x)$ を整式で表される関数とし, $g(x) = \int_0^x e^t f(t) dt$ とおく. 任意の実数 x について

$$x(f(x) - 1) = 2 \int_0^x e^{-t} g(t) dt$$

が成り立つとする.

- (1) $xf''(x) + (x+2)f'(x) - f(x) = 1$ が成り立つことを示せ.
- (2) $f(x)$ は定数または1次式であることを示せ.
- (3) $f(x)$ および $g(x)$ を求めよ.

4 自然数の数列 $\{a_n\}, \{b_n\}$ は

$$(5 + \sqrt{2})^n = a_n + b_n\sqrt{2} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たすものとする.

- (1) $\sqrt{2}$ は無理数であることを示せ.
- (2) a_{n+1}, b_{n+1} を a_n, b_n を用いて表せ.
- (3) すべての自然数 n に対して $a_{n+1} + pb_{n+1} = q(a_n + pb_n)$ が成り立つような定数 p, q を2組求めよ.
- (4) a_n, b_n を n を用いて表せ.

5 実数 a に対し, 行列 $A = \begin{pmatrix} a-1 & a-2 \\ a-2 & 1-a \end{pmatrix}$ を考える. n を自然数とし, 座標平面上において, 行列

A^n により点 $(1, 0)$ が点 P_n に移り, 点 $(0, 1)$ が点 Q_n に移るものとする. 2点 P_n, Q_n の間の距離を P_nQ_n で表す.

- (1) P_1Q_1 を求めよ.
- (2) A^n を a と n を用いて表せ.
- (3) n が固定され, a が実数全体を動くとき, P_nQ_n の最小値を求めよ.

6 点 $P(x, y)$ が双曲線 $\frac{x^2}{2} - y^2 = 1$ 上を動くとき, 点 $P(x, y)$ と点 $A(a, 0)$ との距離の最小値を $f(a)$ とする.

- (1) $f(a)$ を a で表せ .
- (2) $f(a)$ を a の関数とみなすとき , ab 平面上に曲線 $b = f(a)$ の概形をかけ .

出題範囲と難易度

- 1** 標準 II 三角関数
- 2** 標準 III 積分法の応用
- 3** 標準 III 微分法・積分法
- 4** 標準 B 数列
- 5** 標準 C 行列
- 6** 標準 C いろいろな曲線

略解

1 (1) 証明は省略

(2) 証明は省略

(3) $\alpha = 40^\circ, \beta = 160^\circ$

2 (1) 最大值: $\sqrt{t+2\sqrt{t}+2}$

$$\text{最小値: } \begin{cases} \sqrt{t-2\sqrt{t}+2} & (0 \leq t \leq 1) \\ 1 & (1 \leq t \leq 4) \end{cases}$$

$$(2) S(t) = \begin{cases} 4\pi\sqrt{t} & (0 \leq t \leq 1) \\ \pi(t+2\sqrt{t}+1) & (1 \leq t \leq 4) \end{cases}$$

(3) $\frac{45}{2}\pi$

3 (1) 証明は省略

(2) 証明は省略

(3) $f(x) = x+1, g(x) = xe^x$

4 (1) 証明は省略

(2) $a_{n+1} = 5a_n + 2b_n, b_{n+1} = a_n + 5b_n$

(3) $(p, q) = (\sqrt{2}, 5 + \sqrt{2}), (-\sqrt{2}, 5 - \sqrt{2})$

(4) $a_n = \frac{1}{2} \{(5 + \sqrt{2})^n + (5 - \sqrt{2})^n\}, b_n = \frac{1}{2\sqrt{2}} \{(5 + \sqrt{2})^n - (5 - \sqrt{2})^n\}$

5 (1) $P_1Q_1 = \sqrt{4a^2 - 12a + 10}$

$$(2) A = \begin{cases} (2a^2 - 6a + 5)^{\frac{n}{2}} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} & (n \text{ が偶数のとき}) \\ (2a^2 - 6a + 5)^{\frac{n-1}{2}} \begin{pmatrix} a-1 & a-2 \\ a-2 & 1-a \end{pmatrix} & (n \text{ が奇数のとき}) \end{cases}$$

(3) $2^{\frac{n-1}{2}}$

$$6 (1) f(a) = \begin{cases} \sqrt{\frac{a^2}{3} - 1} & (a \leq -\frac{3\sqrt{2}}{2}, \frac{3\sqrt{2}}{2} \leq a) \\ |a + \sqrt{2}| & (-\frac{3\sqrt{2}}{2} \leq a \leq 0) \\ |a - \sqrt{2}| & (0 \leq a \leq \frac{3\sqrt{2}}{2}) \end{cases}$$

(2) 求める曲線は, 下図のようになる.

